サポート情報記事

RSS Reader のプライバシーとセキュリティ: フィードの読み込み方法と送信される情報

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

管理者向けの概要 4

ソリューションのアクセス許可 5

ユーザーに必要なもの 5

フィードの読み込み方法と送信される情報 5

構成の格納場所 7

ブラウザーに保持される内容 7

フィード コンテンツの表示方法 8

Vitextra のサービスへの要求 8

ネットワーク要件 9

推奨事項 9

用語 11

はじめに

社外のコンテンツをイントラネットに取り込む Web パーツは、管理者にとって 2 つの疑問を生みます。何がテナントから出ていくのか、そして何が入ってくるのか、です。RSS Reader は、そのコンテンツが Vitextra のサーバー (フィードをダウンロードするフィード サービス) を経由するという点で、Vitextra 製品の中では特別です。この記事では、その要求に正確に何が含まれるのか、Web パーツがテナント内で何を許可されているのか、構成がどこに保存されるのか、ブラウザーに何を保持するのか、発行元がフィードに入れた HTML をどのように扱うのかを説明します。

管理者向けの概要

質問	回答
パッケージはどの API アクセス許可を要求しますか?	なし
Web パーツは、**SharePoint** のリスト、ファイル、ユーザー プロファイルを読み取りますか?	いいえ
フィードをダウンロードするのは誰ですか?	ブラウザーからの要求を受けた Vitextra フィード サービス
フィード サービスへの要求には何が含まれますか?	フィードのアドレス、テナント ID、ユーザーのオブジェクト ID、サイトのアドレス、製品とそのバージョン
テナントのコンテンツが Vitextra に送信されますか?	いいえ
構成はどこに保存されますか?	ページ上の **Web パーツ** プロパティ。Teams 個人用アプリの場合は、お客様のテナント用に Vitextra のサービス内
ブラウザーには何が保持されますか?	最後に読み込まれたフィード アイテムをセッション ストレージに保持します。キャッシュの再利用期限は 30 分で

質問	回答
	す
フィードの HTML はページ内で実行されますか?	いいえ。不活性な方法で解析され、プレーン テキストとイメージのアドレスだけが使用されます

ソリューションのアクセス許可

RSS Reader は、アプリ カタログから展開される SharePoint Framework Web パーツです。

- パッケージは **API アクセス許可を要求しません**。SharePoint 管理センターの **API アクセス**ページには何も表示されず、Web パーツがデータのために **Microsoft Graph** や SharePoint **REST API** を呼び出すこともありません。
- ページ コンテキストから読み取るのは、すべての Web パーツが持つ情報だけです。テーマ、言語、サイトのアドレス (ライセンス確認とフィード要求のため)、サインインしているユーザーの ID (同じ要求のためのオブジェクト ID) です。
- フィードのコンテンツは、SharePoint、OneDrive、**Microsoft Entra ID** には保存しません。

ユーザーに必要なもの

タスク	必要なアクセス許可
パッケージをアプリ カタログにアップロードする、Teams に追加する	SharePoint 管理者、またはアプリ カタログの所有者
Web パーツをページに追加し、フィードを構成する	ページの編集アクセス許可
Teams 個人用アプリの既定の構成を保存する	Web パーツを含むページの編集アクセス許可
フィードを読む、ソースを切り替える、絞り込む、検索する	ページの閲覧アクセス許可

フィードの読み込み方法と送信される情報

ブラウザーは、発行元が CORS ヘッダーで許可していない限り、別のオリジンへのスクリプトからの要求を制限します。RSS Reader は vitextra.com のサーバー側のフィード サービスを使用します。ブラウザーがフィードのアドレスを送信し、サービスがフィードをダウンロードして解析し、チャネルとアイテムを構造化データとして返します。

読み込みと自動更新のたびに、次の内容を含む 1 つの要求がフィード サービスに送られます。

フィールド	値
Sources	構成されたフィードのアドレス
TenantId	お客様の **Microsoft 365** テナントの ID
UserId	Microsoft Entra ID におけるサインイン ユーザーのオブジェクト ID (GUID)
SiteUrl	Web パーツが動作しているサイトのアドレス
ProductId、ProductName、ProductVersion	製品の識別子、内部名、バージョン

応答には、フィード アイテム (タイトル、リンク、説明、日付、作成者、分類、イメージのアドレス) と、ダウンロードできなかったソースの一覧が含まれます。サービスは、お客様のテナントのコンテンツを受け取ることも返すこともありません。ユーザーは名前や電子メール アドレスではなく、GUID によって識別されます。

3 つの影響:

- 構成したフィードのアドレスはサービスに送信されます。個人用トークンや API キーなどの機密情報を含むアドレスは使用しないでください。サービスとページを閲覧できるすべてのユーザーに、その認証情報が共有されます。
- 社内ネットワーク内でのみ到達可能なフィードは表示できません。
- ブラウザーがフィードのために発行元のサーバーに接続することはありません。接続するのは、アイテムのイメージのためです。イメージは、Web ページ上の他の画像と同様にブラウザーが直接読み込むため、発行元にはユーザーのブラウザーからの通常の画像要求が見えます。

メモ

Vitextra によるこれらの要求の処理については、プライバシー ポリシーで説明しています。要求がサービスに伝えるのは、ページにどのフィードが構成されているかであり、ユーザーがどの記事を開いたかではありません。記事へのリンクは発行元に直接つながり、クリックが Vitextra に報告されることはありません。

構成の格納場所

SharePoint ページ上では、構成 (アドレス、名前、順序を持つフィード、レイアウト、スイッチ) は、**Site Pages** (サイトのページ) ライブラリ内のページの中にある **Web パーツのプロパティ**に格納されます。ページを読み取れるユーザーは誰でも構成を読み取れます。ページのバージョンには以前の構成が保持されます。

Teams 個人用アプリの場合、管理者が) グループの**設定の保存**で構成を保存します。この構成 (同じフィールドで、Web パーツのタイトルを除く) は、個人用アプリには格納先となるページがないため、お客様のテナントと製品に対して Vitextra のサービスに格納されます。テナント内のすべてのユーザーの個人用アプリによって読み取られ、次の**設定の保存**で上書きされます。含まれるのは設定とフィードのアドレスだけで、ユーザー データは含まれません。

Teams チャネル タブでは、構成はページ上と同様にタブと一緒に格納されます。

ブラウザーに保持される内容

読み込みが成功すると、Web パーツはフィードのアドレスの組み合わせをキーとして、受信したアイテムを**セッション ストレージ**に保存します。新しいアイテムをバックグラウンドで読み込む間、保存から 30 分以内のキャッシュを再利用します。この期限は再利用の制限であり、自動削除の期限ではありません。キャッシュにはフィード アイテムが含まれ、ユーザー情報は含まれません。キャッシュはタブのセッションに属し、ブラウザーのセッション復元時に復元されることがあります。フィードのキャッシュ自体には、ローカル ストレージや Cookie は使用しません。

Web パーツはユーザーが開いた記事を**記録しません**。ブラウザーは閲覧履歴を保存する場合があり、訪問済みリンクの状態を使って開いたタイトルを淡色表示し

ます。

フィード コンテンツの表示方法

フィード アイテムには、発行元が書いた HTML (マークアップ付きの説明、埋め込まれた画像、場合によってはスクリプトやトラッキング ピクセル) が含まれています。RSS Reader は、この HTML をページに挿入することはありません。

- 説明は `DOMParser` で別のドキュメントとして解析されます。スクリプトは実行されず、**プレーン テキスト**だけが表示されます。不活性な解析であっても、埋め込みリソースへの要求が発生しないとは限りません。
- 画像はフィードのメディア要素または説明から取得されます。説明内で画像を探す際、指定された幅または高さが 1 ピクセル以下の画像は除外されますが、すべてのトラッキング画像をブロックするわけではありません。選択した画像は、発行元のアドレスを持つ通常の `<img>` 要素として表示されます。
- リンクは、発行元のサイトの元の記事を新しいタブで開きます。Web パーツがトラッキング パラメーターを追加することはありません。

不正な形式のアイテム (要素の欠落、壊れたマークアップ) は、持っているデータで表示され、他のアイテムの表示を妨げることはありません。

Vitextra のサービスへの要求

目的	送信される内容	送信先
フィード サービス	**上記の表**を参照	`vitextra.com`
ライセンスの確認	テナント ID、ユーザーのオブジェクト ID、サイトのアドレス、製品の識別子、名前、バージョン	`vitextra.com`
Teams 個人用アプリの構成	個人用アプリの読み込みのたびに読み取られ、**設定の保存**で書き込まれる、上記の構成フィールド	`vitextra.com`
使用状況テレメトリ	Web パーツの読み込み時のイベント: 製品の名前	Azure Application Insights

目的	送信される内容	送信先
	とバージョン、サイトの ID とアドレス、ユーザーのオブジェクト ID、インターフェイスの言語、Web パーツが Teams で実行されているかどうか。エラーの技術的な詳細	
製品ファイル	Web パーツのスクリプトとアイコンに対する通常のファイル要求	`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net`

すべての Vitextra 製品にわたる同じ情報については、KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPRを参照してください。

ネットワーク要件

ユーザーのネットワークと Teams クライアントから `vitextra.com`、`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net` への送信 HTTPS を許可してください。フィード サービスがブロックされると、新しいアイテムを読み込めません。以前に読み込んだデータがない場合は、エラーが表示されます。製品ファイルのホストをブロックすると、Web パーツが読み込まれない場合があります。画像は発行元のホストから読み込まれるため、その要求がブロックされると表示されない場合があります。

推奨事項

1 イントラネット上の他の外部コンテンツと同様に、組織が信頼する発行元のフィードを使用してください。タイトル、テキスト、画像は発行元のものであり、お客様の確認なしに変わります。
2 フィードと画像の両方に HTTPS アドレスを使用してください。ブラウザーは HTTP の画像要求を HTTPS に変更するか、ブロックする場合があります。確実に表示するには、画像の HTTPS アドレスを直接使用してください。
3 アドレスに個人用トークンを含むフィードは構成しないでください。そのアドレスは、ページを読み取れるすべてのユーザーおよびフィード サービスと共有されます。

4 共用のコンピューターでは、サインアウト時にブラウザーのサイト　データを消去してください。ブラウザーがセッションを復元できる場合、タブを閉じるだけではデータの削除は保証されません。

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Entra ID
Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

REST API
REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

RSS
RSS (Really Simple Syndication) は、Web サイトの更新情報をユーザーやアプリケーションに標準化された機械可読形式で配信するために使用される、一般的な Web フィード形式です。この形式は、ニュース記事、ブログ投稿、その他の頻繁に更新されるコンテンツの配信に広く使用されています。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Web パーツ

Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

テナント

Microsoft 365 テナントは、Microsoft 365 サービスの専用インスタンスです。テナントには、ユーザーやドメイン (Microsoft Entra ID)、構成、サブスクリプション、サービスなど、組織の情報が保持されます。組織は、Microsoft 365 サービスにサインアップすることでテナントを受け取ります。